

2018年度第1四半期決算説明

2018年5月15日

株式会社 クラレ

2018年度1Q実績

	18年度1Q実績	前年同期実績	増減
売上高	1,492億円	1,263億円	228億円(18.1%)
営業利益	233億円	228億円	5億円(2.3%)
経常利益	229億円	221億円	8億円(3.7%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	157億円	153億円	5億円(3.0%)

参考

円/ドル	108	114
円/ユーロ	133	121
国産ナフサ価格 (千円/kl)	47	40

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度1Qの数値は遡及修正しています。

* 18年度1Qの実績にはCalgon Carbon社の業績が含まれています。

カルゴンカーボン社の連結決算算入について

本年3月9日（米国時間）のカルゴンカーボン社買収手続き完了にともない、2018年度第1四半期より当社連結決算に算入します。

- ◆ 2018年度第1四半期への業績反映：2018年1月1日～2018年3月31日
- ◆ セグメント：機能材料セグメント
- ◆ のれん代の確定は2018年度末を予定し、四半期決算では暫定のれん代を使用

旧セグメント（～2017年12月期）

ビニルアセテート	変更なし
イソプレン	変更なし
機能材料	メタアクリル メディカル クラリーノ 炭素材料(含、エネルギー材料事業)
繊維	繊維資材 生活資材
トレーディング	変更なし
その他	変更なし

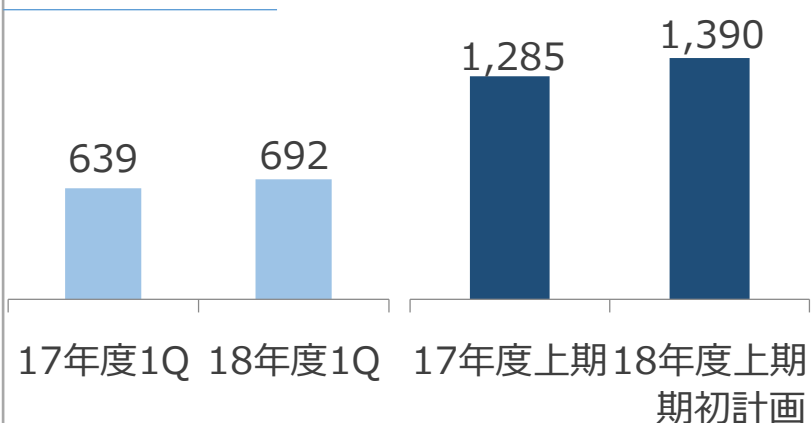


新セグメント（2018年12月期～）

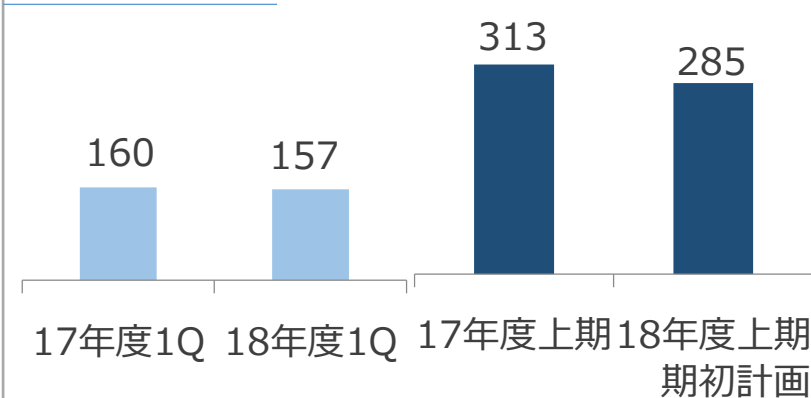
ビニルアセテート	変更なし
イソプレン	変更なし
機能材料	メタアクリル メディカル 炭素材料(含、エネルギー材料事業) カルゴンカーボン
繊維	クラリーノ 繊維資材 生活資材
トレーディング	変更なし
その他	変更なし

ビニルアセテートセグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ ポバール樹脂

昨年より本格稼働を開始した北米工場が寄与し、北米市場で販売が増加したものの、原燃料価格上昇の影響を受けた。

■ 光学用ポバールフィルム

光学用ポバールフィルムは販売量が増加。また、ディスプレイ市場の拡大とパネルのサイズ大型化のニーズに対応するため、倉敷事業所で新設備投資（2019年末稼働予定）を決定。

■ 水溶性ポバールフィルム

引き続き数量が拡大。

■ PVBフィルム

販売量が拡大したが、原燃料価格上昇の影響を受けた。

■ <エバール>

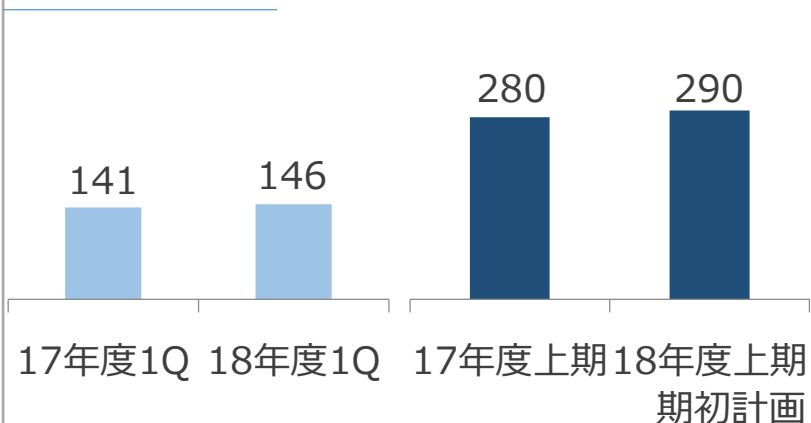
食品包装用途、自動車ガソリンタンク用途ともに販売量が拡大し好調。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度1Qの数値は遡及修正しています。

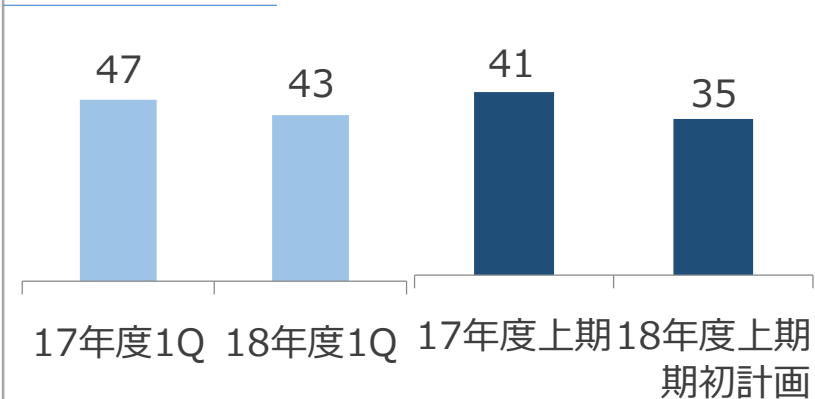
* 有形固定資産の減価償却方法と耐用年数、及び全社共通費の配賦方法の変更により、18年度1Qの営業利益はマイナスの影響を受けました。

イソプレンセグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ イソプレン

ファインケミカル、液状ゴムは販売が拡大し堅調に推移したが、熱可塑性エラストマー〈セプトン〉は、販売量が減少。

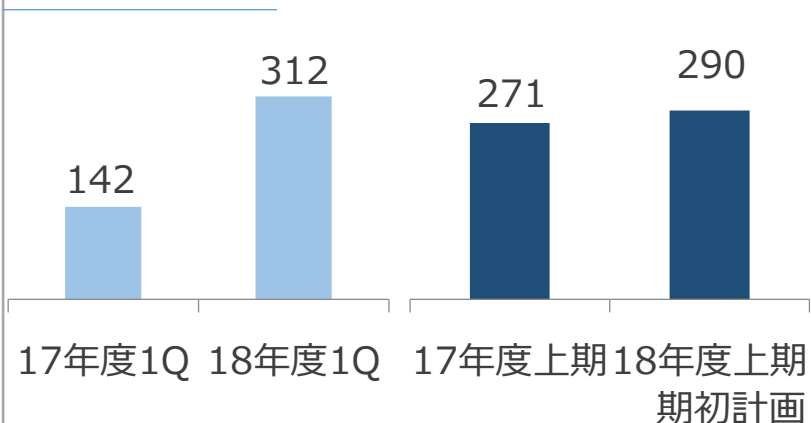
■ <ジェネスタ>

自動車用途、コネクタ用途、LED反射板用途のいずれも販売が拡大。

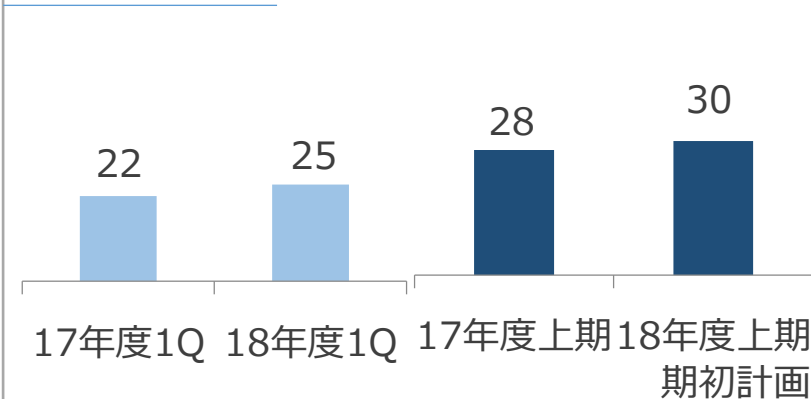
* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度1Qの数値は遡及修正しています。

機能材料セグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■メタクリル

好市況が継続したが、樹脂の一部用途が低調。

■メディカル

歯科材料のジルコニア系製品の拡充が寄与し好調。

■炭素材料

汎用用途の販売量が減少。

■カルゴン・カーボン

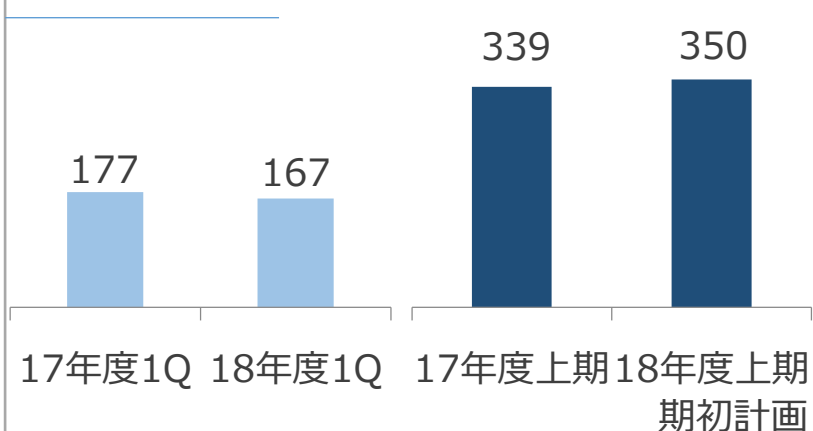
販売が順調に推移。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度1Qの数値は遡及修正しています。

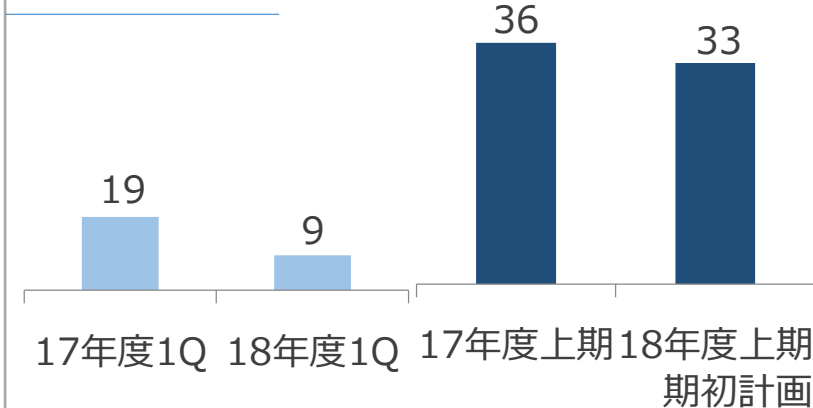
* 18年度1Qの実績にはCalgon Carbon社の業績が含まれています。

繊維セグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ <クラリーノ>

スポーツシューズ向け出荷が減少し、低調に推移。

■ 繊維資材

ビニロンは一部用途での出荷時期ずれによる数量減に加え、原燃料価格上昇の影響を受けた。

■ 生活資材

総じて順調に推移。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度1Qの数値は遡及修正しています。

* 18年度1Qからの組織体制変更に伴い、17年度1Qの数値には<クラリーノ>を含めています。

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	18年度 1Q実績		前年同期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	692	157	639	160	53	▲3
イソプレン	146	43	141	47	5	▲4
機能材料	312	25	142	22	170	3
繊維	167	9	177	19	▲10	▲10
トレーディング	325	11	318	10	7	1
その他	128	3	117	9	11	▲6
調整額	▲278	▲16	▲271	▲39	▲7	23
合計	1,492	233	1,263	228	228	5

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度1Qの数値は遡及修正しています。

カルゴンカーボン社の影響

1. 業績影響（億円）

	18年度予想		
	上期	下期	通期
売上高	350	350	700

暫定のれん代*：855億円

のれん償却額（暫定値）	▲20	▲20	▲40
-------------	-----	-----	-----

*のれん代は取得原価の配分等が完了していないため、暫定的に算定された金額であり、円貨は2017年12月末日の為替相場による換算額としています。なお、のれん償却額は、20年の定額償却としています。

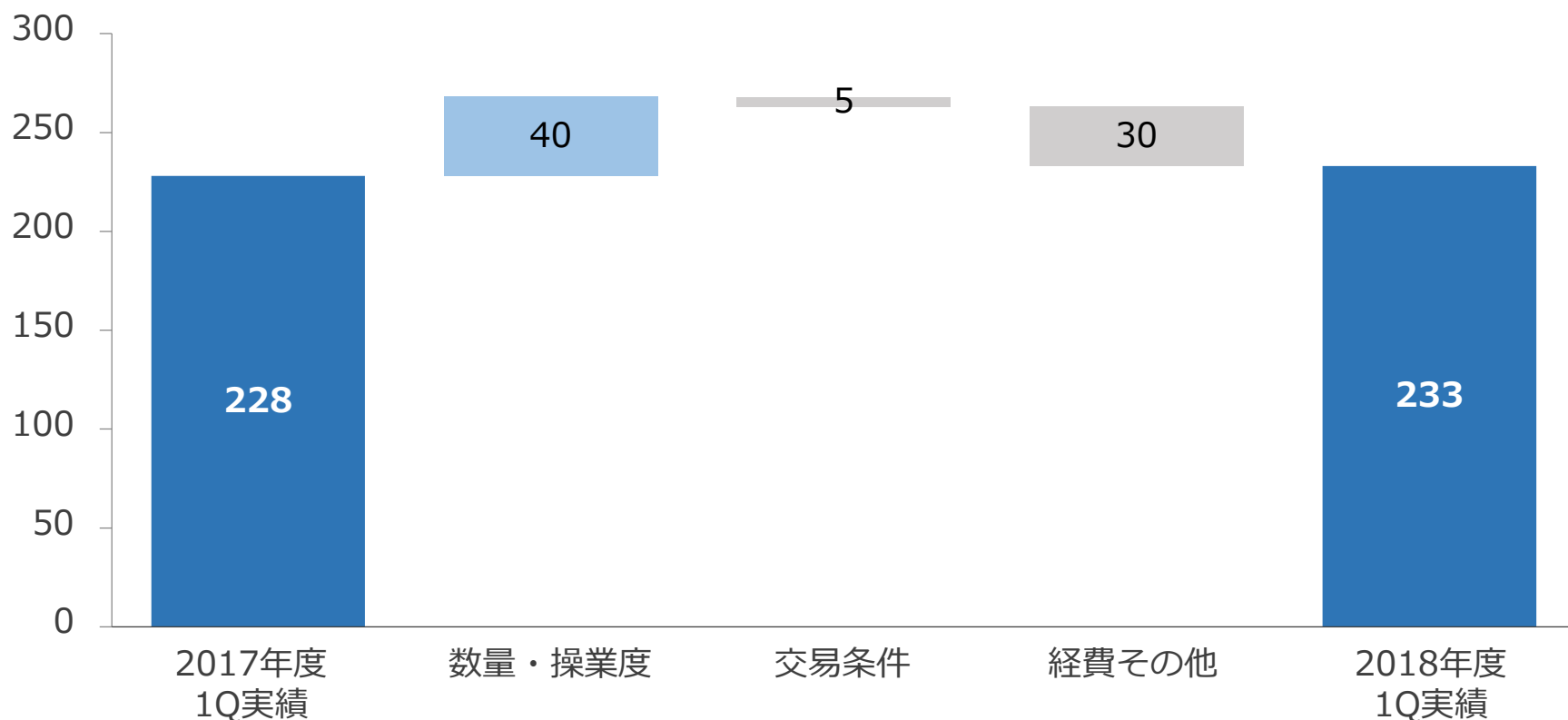
2. 貸借対照表影響（取得時）

流動資産	426億円	流動負債	437億円
固定資産	559億円	固定負債	76億円
資産合計	985億円	負債合計	513億円
		純資産合計	472億円

*上記暫定のれん代を除く

営業利益増減分析

[億円]



	17年1Q実績	18年1Q実績
国産ナフサ/kI	40千円	47千円
ドル (平均)	114円	108円
ユーロ (平均)	121円	133円

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度1Qの数値は遡及修正しています。

貸借対照表①(資産の部)

[億円]

	18年3月末	17年12月末	増減
流動資産	3,925	3,605	320
固定資産	5,324	4,163	1,161
資産合計	9,249	7,767	1,482

＜参考＞ 期末日為替レート

	18.3末	17.12末
円/ドル	106	113
円/ユーロ	131	135

貸借対照表②(負債の部)

[億円]

	18年3月末	17年12月末	増減
流動負債	2,368	1,081	1,287
固定負債	1,335	1,032	303
負債合計	3,703	2,112	1,591
純資産合計	5,546	5,655	▲109
負債・純資産合計	9,249	7,767	1,482

<参考> 期末日為替レート

	18.3末	17.12末
円/ドル	106	113
円/ユーロ	131	135

2018年度業績予想

[億円]

	18年度 今回修正予想		18年度 期初予想 (2018年2月14日)		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	3,000	6,100	2,670	5,400	330	700
営業利益	360	770	360	770	0	0
経常利益	350	750	350	750	0	0
親会社株主に帰属 する当期純利益	230	490	230	490	0	0

2018年度業績予想

[億円]

	18年度 今回修正予想		17年度 実績		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	3,000	6,100	2,513	5,184	487	916
営業利益	360	770	375	751	▲15	19
経常利益	350	750	363	730	▲13	20
親会社株主に帰属 する当期純利益*	230	490	240	536	▲10	▲46

* 17年度通期実績：米国減税影響+75億円

セグメント別売上高予想

[億円]

	2018年度 今回修正予想		2017年度 実績		増減		期初予想からの増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
ビニルアセテート	1,410	2,820	1,285	2,669	125	151	20	0
イソプレン	290	590	280	564	10	26	0	0
機能材料	640	1,290	271	552	369	738	350	700
繊維	335	680	339	664	▲4	16	▲15	0
トレーディング	660	1,350	627	1,288	33	62	0	0
その他	220	510	237	542	▲17	▲32	▲20	0
調整額	▲555	▲1,140	▲526	▲1,095	▲29	▲45	▲5	0
合計	3,000	6,100	2,513	5,184	487	916	330	700

* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の2018年度業績予想と2017年度組み替え実績を対比しています。

セグメント別営業利益予想

[億円]

	2018年度 今回修正予想		2017年度 実績		増減		期初予想からの増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
ビニルアセテート	285	585	313	613	▲28	▲28	0	0
イソプレ	35	90	41	84	▲6	6	0	0
機能材料	35	65	28	63	7	2	5	0
繊維	28	75	36	72	▲8	3	▲5	0
トレーディング	22	45	19	39	3	6	0	0
その他	10	35	14	33	▲4	2	▲7	0
調整額	▲55	▲125	▲76	▲153	21	28	7	0
合計	360	770	375	751	▲15	19	0	0

* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の2018年度業績予想と2017年度組み替え実績を対比しています。

自己株式の取得について

	株数	金額
設定取得枠	220万株	40億円
期間	2018年5月16日～2018年10月31日	

(1) 取得対象株式の種類：当社普通株式

(2) 取得方法：自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付

(参考)

2018年3月31日時点の発行済株式総数：350,855,503株

(自己株式数を除く)

未来に化ける新素材。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。